

全国行政**歯**科技術職連絡会

- ◆ 2005年5月に発足
- ◆ 「世界最高水準の歯科保健医療を提供する」ことを目指す、全国の
地方行政に勤務する歯科医師・歯科衛生士を中心とした組織
- ◆ 行政の歯科保健医療に関する情報提供・意見交換（会員メーリング
リスト、歯っとサイトの運用）
- ◆ 行歯会だよりの発行
- ◆ 会員同士のオンライン上での交流や集い、現地視察等の企画実施

すべて**無料**です

行政の**歯科**技術職に求められること

- ① 地域の特性と健康課題に対応した歯科保健計画や事業の企画立案
- ② 多職種と連携した歯科保健事業の運営と事業評価
- ③ ライフコースに応じた個人・集団・組織に対する支援
- ④ 地域の歯科保健医療状況に関する統計資料や関連情報の収集と発信
- ⑤ ソーシャルキャピタルの醸成と社会資源のコーディネート
- ⑥ 健康危機管理及び災害時歯科保健医療対策

これらの項目に対する気づきや手がかりを得られるのが、**行歯会**です !!

会員メーリングリストによる情報交換

●●について、データや論文を探しています！
情報提供いただけませんか？

気づきが
いっぱい！

読むだけでも
役立つ！

国、学会等の情報が発信されています！
こちらをご覧ください！ [https//.....](https://...)

●●について新規事業を企画しないと！
どこかで似たようなこと、やっていないかな？？？



行歯会ホームページ（歯っとサイト内）

国立保健医療科学院
歯科口腔保健の情報提供サイト（通称：歯っとサイト）

Home 科学院TOP 咀嚼支援サイト 歯科メタボ導入サイト 歯科需給サイト

Search Google

根拠法令
事業の事例など
啓発資料
マニュアル・手引き類
学術情報
データ
基礎知識
災害対策
リンク
行歯会
ご意見・ご要望
コーナー
(リンクのご要望やご意見がある方はこちらへ)

根拠法令
Legal basis

事業の事例など
Business Case

啓発資料
Educational materials

マニュアル・手引き類

学術情報
Academic information

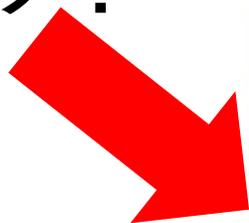
データ
Data

基礎知識
Basic knowledge

災害対策
Disaster planning

リンク
link

「行歯会」を
クリック！



行歯会だより (ほぼ毎月発行)

行歯会だより 第202号

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

令和7年2月発行



1 第83回日本公衆衛生学会に参加して(P.2)

静岡県 静岡市口腔保健支援センター
所長 小畑 充彦

2 第83回日本公衆衛生学会自由集会参加報告(P.4)

北海道 札幌市保健福祉局ウェルネス推進部ウェルネス推進課
技術職員 菅原 ひとみ

3 第32回全国歯科保健推進研修会及び第45回全国歯科保健大会開催報告(P.6)

熊本県 健康福祉部健康局健康づくり推進課
参事 井上 秀代

4 「食育における歯科口腔保健の推進」現場レポート

「自然に健康になれる食環境づくり」「くらしき3ベジプロジェクト」の紹介(P.7)

岡山県 倉敷市保健所健康づくり課
主幹 家守 己恵子

「歯っとサイト(歯科口腔保健の情報提供サイト)」掲載コンテンツ募集!

「歯っとサイト」<https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html>では、掲載コンテンツを募集しています。掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている編集担当宛に御連絡ください。

行歯会だより読者コーナー

行歯会や行歯会だよりへのご感想、ご意見をお聞かせください。投稿者に確認の上、行歯会だよりに掲載させていただく場合もあります。
<https://forms.gle/q4WYyFL2Tg2yo2o19>

行歯会だより 第203号

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

令和7年3月発行



1 私たちの歯科保健計画<その8> (P.1)

宮城県 仙台市健康福祉局保健衛生部健康政策課
主査 高橋 明子

2 令和6年度行歯会都道府県世話役アンケート結果報告

「世話役所属自治体における歯科保健人材の育成状況等」(P.6)

神奈川県 小田原保健福祉事務所保健福祉課
課長 中條 和子
佐賀県 健康福祉部健康福祉政策課
主任歯科衛生士 森内 あおい
福岡県 北九州市保健福祉局健康医療部健康推進課
係員 田中 照彦

1 わたしたちの歯科保健計画<その8>

宮城県 仙台市健康福祉局保健衛生部健康政策課
主査 高橋 明子

行歯会の皆さまにはいつも大変お世話になっております。仙台市の高橋です。

歯科保健担当としての本庁業務20年の中で、当初計画から第3期まで3つの計画のPDCAに携ってまいりました。取り組みの拠り所としたのは、保健医療、福祉、教育の現場の最前線で活躍されている方々が参画する「仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議」において協議を重ねて策定した「アクションプラン」です。

この稿では、アクションプラン作成のメリットやPDCAサイクルの成功例、現在進行中のプロジェクトについて報告したいと思います。



1 はじめに

ここは仙台、時は令和6年(2024年)3月。伊達家の陣羽織の5色に彩られた水玉の文様の上に、「伊達健歯(だてたけし)とスパローズ」という名の計画推進のシンボルが、「出立(出発)せよ!」とばかりに先陣を切って立っております。「仙台市・歯と口の健康づくり計画(第3期)」<期間:令和6年度~17年度>の表紙(図1)は、胎児期(妊娠期)から高齢期に至るまでのライフコースを「道」に見立て、色合いや大きさの異なる水玉模様は「多様性を包摂して前に進むこと」を表して、先ずは目を惹くビジュアルで、市民や関係者に「以後、お見知りおきを」と計画を覚えていただく戦略です。

3期目の計画の戦略や戦術を立てるに当たっては、当初計画策定時に設置された進行管理の会議体である「仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議」(以下、ネットワーク会議)において、歯科保健全体を俯瞰した「市民のあるべき姿(アウトカム)」を検討しました。更に前計画で苦戦した分野(最終評価で悪化し



図1 仙台市歯と口の健康づくり計画(第3期)・同計画アクションプラン

行歯会設立までの経緯

※行歯会だより第193号：安藤雄一氏の原稿より作成

- 最初に行歯会設立を構想した人物は、中村宗達氏(歯科医師・元静岡県職員)
- 2003年1月下旬に、中村宗達氏が関係者に構想を発表
- 中村宗達氏が参画していたフッ化物応用の厚生労働科学研究班および個人的人脈を活用し、多くの関係者に必要性を提訴
- 構想発表から8ヶ月経った2003年9月25日、第52回日本口腔衛生学会総会(福岡県北九州市)に併せて、発起人会を開催
- 発起人会のメンバー(設立後の理事)によるメーリングリスト(理事メーリングリストの前身)が立ち上がり、行歯会設立に向けた意見交換を実施
- 2004年1月14日、組織名称を「行歯会(全国行政歯科技術職連絡会)」に決定
- 2004年9月17日、第53回日本口腔衛生学会総会(岩手県盛岡市)に併せて理事会懇談会を開催し、理事を決定
- 2005年1月14日開催の事務局会議で、「行歯会だより」を原則毎月刊行することを決定
- 2005年5月9日、行歯会だより創刊号を会員メーリングリストで配信

沿革 1

| 時 期 | 内 容 |
|----------|---|
| 2005年5月 | 第1期石上和男(歯科医師・新潟県)執行部発足、会員募集開始、メーリングリスト(Yahoo!グループを利用)稼働、行歯会だより創刊号発行、会員数:約200名 |
| 2005年7月 | 会員数が250名を超える |
| 2005年8月 | 会員数が300名を超える |
| 2006年6月 | 第1回理事会開催 |
| 2007年3月 | 第2回理事会開催、地域保健総合推進事業(日本公衆衛生協会)を受託実施 |
| 2008年7月 | 新潟県で全国初の「新潟県歯科保健推進条例」が制定・施行 |
| 2009年4月 | 第2期岩瀬達雄(歯科医師・佐賀県)執行部発足 |
| 2009年8月 | 国立保健医療科学院のサイト内に行歯会ホームページができる |
| 2009年10月 | 行歯会だより第50号発行 |
| 2011年8月 | 「歯科口腔保健の推進に関する法律」が制定・施行 |
| 2012年4月 | 会員の大西宏昭氏が大阪府岸和田保健所長に就任、会員の井下英二氏が滋賀県甲賀保健所長に就任(全国で初めて歯科医師の保健所長が誕生) |

沿革 2

| 時 期 | 内 容 |
|----------|---|
| 2013年3月 | 都道府県世話役(49名)を設置 |
| 2013年4月 | 第3期長優子(歯科衛生士・江戸川区)執行部発足、会員数が550名を超える |
| 2013年秋 | 国立保健医療科学院の「歯科口腔保健の情報提供サイト(歯っとサイト)」稼働 |
| 2014年1月 | 第3回理事会開催、事務担当理事を6名から8名に増員、会員数が630名を超える |
| 2014年9月 | メーリングリストをYahoo!グループから国立保健医療科学院のシステムに移行 |
| 2014年11月 | 第4回理事会開催 |
| 2015年1月 | 行歯会だより第100号発行(水道水フッ素化を特集)、第5回理事会開催 |
| 2015年4月 | 公益社団法人日本歯科医師会が設置した災害歯科保健医療連絡協議会に参画 |
| 2016年4月 | 会員の遠藤浩正氏が埼玉県東松山保健所長に就任(3人目の歯科医師の保健所長) |
| 2017年4月 | 第4期長優子(歯科衛生士・江戸川区)執行部発足、事務担当理事を8名から10名に増員 |
| 2018年8月 | 会員数が750名を超える |
| 2019年4月 | 国立保健医療科学院の事務局長が安藤雄一から福田英輝に交代 |

沿革 3

| 時期 | 内容 |
|-----------|---|
| 2019年10月 | 「市区町村歯科衛生士新任期人材育成ガイドライン」を発行 |
| 2020年1月 | 行歯会だより第150号発行 |
| 2020年6月 | オンラインによる理事懇談会を初開催 |
| 2020年10月 | オンラインで第6回理事会を開催(以後、オンラインでの開催に移行し、定例開催となる) |
| 2021年2月 | オンライン企画「『小規模だからできる楽しい歯科保健』を語り合う」を開催 |
| 2021年4月 | 第5期堀江博(歯科医師・奈良県)執行部発足 |
| 2022年9月 | オンライン企画「『小規模だからできる楽しい歯科保健』を語り合う」Part.2を開催 |
| 2022年10月 | 行歯会だより特別号発行(故井下英二氏(2022年7月29日逝去)に対する追悼文集) |
| 2023年12月 | オンライン企画「政令指定都市の集い」を開催 |
| 2024年1～3月 | 令和6年能登半島地震の支援にDHEATやJDATの一員として会員が多数派遣される |
| 2024年8月 | オンライン企画「フッ化物洗口～アフターコロナの苦戦と飛躍～」を開催 |

会員数

2025年5月現在

| ブロック | 歯科医師 | 歯科衛生士 | 歯科技工士 | 合計 |
|-----------|------|-------|-------|-----|
| 北海道 | 17 | 42 | 0 | 59 |
| 東北・甲信越・北陸 | 26 | 113 | 1 | 140 |
| 関東Ⅰ | 8 | 85 | 0 | 93 |
| 東京 | 13 | 81 | 0 | 94 |
| 関東Ⅱ | 23 | 72 | 0 | 95 |
| 東海 | 16 | 128 | 0 | 144 |
| 近畿 | 22 | 98 | 0 | 120 |
| 中国・四国 | 15 | 61 | 1 | 77 |
| 九州・沖縄 | 25 | 71 | 0 | 96 |
| 賛助会員 | 13 | 2 | 0 | 15 |
| 合計 | 178 | 753 | 2 | 933 |